

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	千葉県長生土木事務所	工 事 名	国道道路改築工事（立木・管渠工）
施 工 場 所	一般国道409号 茂原市 立木	工 期（ 予 定 ）	150日間
工 事 概 要 等	カルバート工（φ1000） L＝45m		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③) / ①×100	備 考
土 砂	540.0 地山m3	540.0 地山m3	0.0 地山m3	0.0 地山m3	100.0 %	
砕 石	161.2 トン	161.2 トン	0.0 トン	0.0 トン	100.0 %	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類		⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) ×100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥×100	備 考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第2種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第3種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第4種 建設発生土	298.8 地山m3	239.1 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	59.7 地山m3	80.0 %	100.0 %	
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	合 計	298.8 地山m3	239.1 地山m3	0.0 地山m3	0.0 地山m3	59.7 地山m3	80.0 %	100.0 %	
コンクリート塊		16.5 トン	0.0 トン	0.0 トン	16.5 トン	0.0 トン	0.0 %	100.0 %	
アスファルト・コンクリート塊		トン	トン	トン	トン	トン	%	%	
建設汚泥		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材		トン	トン	トン	トン	—	%	%	

- ※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）
- ①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。
- ④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）
- ⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。
- ※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。
- ※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。
- ※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。
- ※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。